

鹿児島市国際交流だより

KIEXなび

Vol. 35
2023.1

※KIEXとは、公益財団法人 鹿児島市国際交流財団の英語表記 Kagoshima International Exchange Foundation の略称です。



Event Report

イベントレポート

- 1 世界の台所(中国・アイルランド・韓国)
- 2 國際協力講演会&パネルディスカッション
- 3 Asia × Kagoshima "Friend-Fish Cooking"
- 4 Taniyama Day Tour(そうめん流し)
- 5 アジアン・鹿児島オンライン音楽祭2022
- 6 生活情報勉強会(ゴミ出し)
- 7 茶道体験
- 8 新入外国人の歓迎交流会～パーティー～
- 9 外国人住民のための一日無料相談会(行政書士)

コラム

- にほんご教室「さくら」インタビュー ● 登録団体紹介

Taniyama Day Tour

開催日 10月15日 参加者数 20名

10月中旬なのに真夏日となった最高の天気の中でのTaniyama Day Tourに、20名の鹿児島市の留学生が参加してくれました。

ほとんどの参加者は谷山の慈眼寺公園に行くのは初めてだということで、谷山観光協会のご協力によるそうめん流し体験では、今までに経験したことのない食べ方で美味しいいただきました。ふるさと考古歴史館では「大学内で学んだ歴史に関するを見られたのがとても貴重だと感じた。」という意見も出していました。

イベント後のアンケートでもみなさんが「谷山(慈眼寺公園)について好きになりました」と回答してくれました。このような形で地域の良さを世界に発信してもらうイベントも行なっていきます。



アジアん・鹿児島 オンライン音楽祭 2022

開催日 10月16日 参加者数 144名

毎年秋、アジアの青少年芸術団体が来鹿して素晴らしいパフォーマンスを披露してきた「かごしまアジア青少年芸術祭」がコロナ禍で中止になって3年目。直接アジア中の青少年たちが集まるのはまだ厳しい中、交流の輪を続けて行くための代替イベント「オンライン音楽祭」が中央公民館で開かれました。

大型スクリーンには、タイ、中国(長沙)、マレーシアの現地から、青少年たちの顔が映し出されました。中央公民館会場の青少年司会者とのお互いの緊張をほぐすような挨拶後、それぞれの団体のパフォーマンスを観賞しました。楽器の合奏や、舞踊など、アジア各地の伝統音楽芸術が会場で楽しめました。

パフォーマンスが終わってからは、各地域を紹介するプレゼンがありました。海外の青少年が自ら作った資料を見せながら、通訳を介して自国の街や文化などを紹介しました。質疑応答の時間もあり、会場の参加者から参加国に色々な質問が挙がりました。

オープニングと最後の舞台を飾った、日越友好協会の伝統舞踊、鹿児島女子高の箏・合唱パフォーマンスも会場の参加者だけではなく、海外の青少年たちにも届けられ、大変好評でした。「鹿児島でアジアを感じてよかったです。でも、やっぱり直接に見てみたい」との参加者の感想どおり、来年は、直接に鹿児島で会うことを願っています。



生活情報勉強会

開催日 10月20日 参加者数 139名

宝山ホールで、鹿児島情報ビジネス専門学校の留学生を対象に、ゴミの出し方・ルールについて勉強会を開催しました。留学生の皆さんには、ほとんどが10月に来日したばかりで、ゴミ出しについてわからず困っている方が多くいました。鹿児島市の職員に講師としてお越しいただき、ペットボトルの分別方法を実物を使用して学生同士で体験したり、ゴミがどの分別に当てはまるかゲームをしたり、学生たちにゴミの分別やルールとなるべくわかりやすく紹介しました。

学生たちは、「わからなかったことを知れた。」「ゴミの分別は大切だということがわかった。」など、ゴミの減量化や資源化について知る機会を作ることができたのではないかと思います。



茶道体験－おもてなしの日本文化－

開催日 10月22日・11月26日 参加者数 14名

市内に在住の外国人の方々に茶道を体験いただきました。当日は鹿児島外語学院の島田暁美氏を講師にお迎えし、同学院の学生達がプレゼンテーションを行ったり、一人一人参加者に通訳しながら作法を説明したりしました。



参加者の声

抹茶は私が中国で飲むお茶と同じではないと知り、日本文化について理解が深まりました。

とても細かく洗練された茶道を体験することができ、とても満足しました。

新入外国人の歓迎交流会～パーティー～

開催日 10月30日 参加者数 244名(うち外国人19か国と地域124名)

昨年度のパーティー終了後のイベントレポートには、『人数を制限したことによる寂しさはありました。次年度は更に盛り上がる会がきっと出来るはずなので、みなさんで楽しんで作っていきたいと思います。』と書いていました。

今年度はその希望通り、大きく盛り上がるイベントになりました。その大きな理由が、「新入外国人」の参加です。まだ新型コロナの影響はあるとはいえ、約3年ぶりに鹿児島市にも多くの外国人留学生等が来てくれています。このイベントでも日本語での感動的なスピーチなど、新たに鹿児島市で生活を始めているみなさんが大きく盛り上げてくれました。日本や外国の文化紹介ブースなどでのひとつひとつの交流が積み重なってとても心温まる交流会となりました。



第4回「外国人住民のための一時無料相談会 －行政書士による専門相談－」

外国人の日本での生活に関する悩みの軽減を目的として、在住外国人が抱える問題に関し、専門家が多言語で対応する相談事業を実施しました。

開催日 11月20日 参加者数 9組12名

行政書士2名に相談員をお願いし、在留資格の変更に関する問題など外国人特有の相談を受けました。

参加者の声

It was very helpful. We have been a little lost. Hopefully we can find a direction from your follow up.

The consulted is so professional and provided us with solid advices. The interpreter is so helpful. He was able to fully understand our questions and most importantly, our worries and our situation. He ever helped us the questions that are important.

